小中一貫教育推進　城山学園　　平成２８年６月２７日
Ｎｏ　２７

学園コーディネーター通信

学園ＣＯ　水﨑浩克

めざす学園像：家庭や地域と協働し、３つのＪを身につけた子どもの育成に専念する学校

城山学園　ＰＴＡ四校会

学校と協働するＰＴＡ　すばらしい活動です！

城山学園ＰＴＡ四校合同企画「みんなで楽しもう！筆ペン講座」が６月１０日（金）に開催されました。場所は、本年度の事務局校赤間西小の書写室と家庭科室。講師は、赤間西小学校の猿渡先生。各校のＰＴＡから２０名の参加者があり、みなさん熱心に筆の運び方、作品づくりに取り組まれました。子どものために学校のために日々活動される皆さんが、今日は自分のために力を高められました。非常に大事なことだと思います。このような企画が城山学園で行われることはＰＴＡ四校会の強みであると感じます。

強みといえば、１８日（土）には、本年度第１回四校会が行われました。内容は、

「子どもと学校に関心をもち、協働して生活･学習習慣づくりをする家庭」をめざして、まずは保護者（家庭内）からあいさつをしようと取り組みの報告と確認が行われました。

〇あいさつの日を決め、保護者から子どもへあいさつをし､ハグやタッチ、握手などを行う。これを保護者への宿題（課題）とし、子どもがサインをする。

裏面へ

〇保護者間（夫婦）で挨拶をしよう。保護者がしっかりあいさつすれば子どもは育つ。

　など、各ＰＴＡが独自の取り組みを展開されています。方法は違ってもめざすは、挨拶をする子どもを育て大切な生活習慣として養うことであり、城山学園がめざす「３つのＪ」を身につけた子ども、つまり自主・自律・自信の気持ちと態度を身につけ高めていく子どもの育成につながっていくものであると確信します。
　このように各ＰＴＡが学校と協働し、同一の目的で活動がなされる四校会は城山学園の大きな強みです。事務局としてお世話をされる役員の方々はたいへんかと思いますが、学園の児童生徒のために、城山学園の地域のために、そしてＰＴＡ会員一人ひとりのためにこれからも協働精神で取り組みを続けましょう。